

第2回 「森の樹木の特徴と

剪定方法を学ぼう①



日時：令和8年5月23日(土) 9:30～12:30

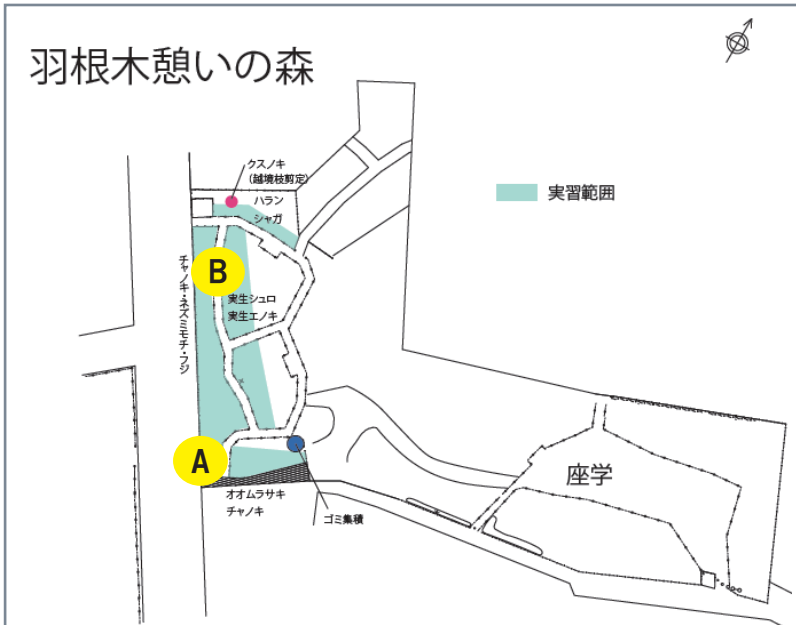
場所：羽根木憩いの森

ねりまの森維持管理コースとは？

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

憩いの森の低木管理や剪定、安全管理のポイントについて講義をしたあと、樹木の強剪定や枝抜き、実生木の伐採等の実習を行いました。

羽根木憩いの森



実習前と後でこんなに変わりました！



講座・実習中の様子



道具の使い方
安全管理も学びました。



チャノキ、オオムラサキ
を剪定しています。



道具のお手入れまで
しっかり！

※茂みは剪定前に、スズメバチがいないか確認します。スズメバチは攻撃前に威嚇することが多いため、出てきた時は、刺激しないよう、ゆっくり後ずさりしてその場から離れましょう。巣の除去は区に依頼してください。

● 道具をお手入れする時のポイント



今回は実地での講習となりました。実習の前には森の歴史の話や剪定方法、安全・安心の8項目の復習を行いました。将来、憩いの森等を管理する時に、その地域の歴史を知ると活動のモチベーションにも繋がります。ぜひ調べてみてくださいね。

実習では剪定ばさみ等を使用し、低木の剪定を行いました。憩いの森等の活動をする際は手の届く範囲の剪定となります。手の届かない中木や高木は無理をせず、区に依頼して剪定してもらいましょう。

活動後は道具が持ってきた数あるかを必ず確認しましょう。また刃物を布で拭いたり、ヤニ取り・防錆スプレーを吹きかけたりすることで、道具を長持ちさせたりすることができます。簡単なお手入れでも毎回やるのが大切です。忘れずに行いましょう。

これから暑い季節がやってきます。団体の活動に参加する際は暑さ対策を行い、気を付けて作業するようにしてください。

みどりのまちづくりセンター

● 今回のキーワード



今回の講座では樹木の低木剪定を行いました。つる植物などは成長すると他の植物やフェンスに絡んだりするため、大きくなる前に剪定することがポイントとなります。

低木剪定の目安としては沿道に飛び出していたり、曲がり角等で視界をふさいでいる樹木・植物を積極的に剪定しましょう。森側からだけでなく、森の外からの視点を持ち、地域に住んでいる方の理解を得ることも重要となります。

憩いの森等でシュロや竹などは成長すると、処理・剪定することが難しくなります。見つけた際は大きくなる前に、処理・剪定しましょう。

詳しい剪定時期は講座で説明したとおり、樹木によって異なります。わからない場合は、自分で調べてみたり専門家に聞いたりしましょう。